

# 2024年度 地域密着型金融の取組み

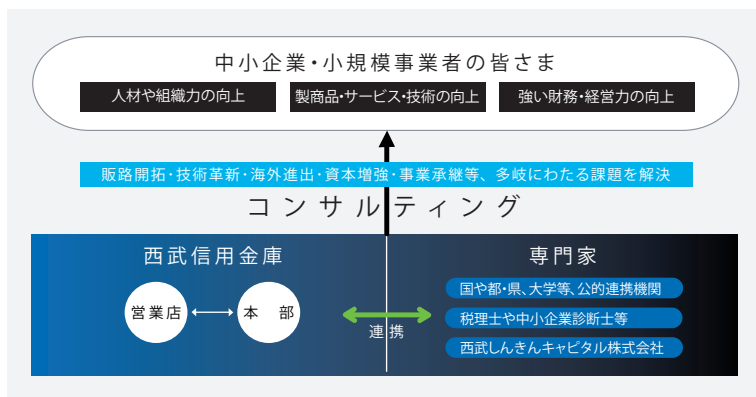
事業支援	1
起業ステージ	1~3
成長・円熟ステージ	3~7
資産形成支援	8~10
街づくり支援	11~13
2024年度の実績	14

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取り組み状況

## 事業支援

“ 当金庫は、中小企業等経営強化法の認定経営革新等支援機関として、下記のコンサルティング体制のもと地域発展の担い手である中小企業・小規模事業者の皆さまの新しい環境の変化に合わせた持続可能な成長をサポートしています。 ”

### ●中小企業コンサルティング体制



### ●主な事業支援実績(2024年度)

1. 専門家派遣による支援	707先 1,328回
2. 公的支援策活用支援	257件
3. ビジネスマッチング支援	6,561件
うち受発注成約支援	1,452件
4. 産学連携支援	109件

### ●その他の取り組み

西武事業支援セミナー開催	8回 参加者数：613名
事業承継支援	414件
M&A相談件数	230件
M&A成約件数	22件
Tokyo Big Advance新規契約	16件
Tokyo Big Advance契約累計	810件

### ●経営課題に応じた事業支援のための各種資格取得状況(2025年3月31日現在)

	2024年度
中小企業診断士資格保有者数	31名
宅地建物取引士資格保有者数	113名

### ●経営支援に関する取り組み状況

**起業**  
ステージ

創業・新規事業開拓期は、ビジネスとして成功するために必要な経営資源(人・物・金・情報)が乏しいことから、起業への第一歩を踏み出せない方も多くいらっしゃいます。当金庫は、こうした課題を解決するため、ニーズに応じた支援メニューを取り揃え、皆さまの起業をご支援しています。

## 1. 将来の産業を担い、社会課題解決、経済成長に資するスタートアップ企業を支援！

### TOKYO Startup Nexus Vol.2 Vol.3

西武しんきんキャピタル株式会社(当金庫子会社/2003年設立)による20年以上にわたる直接的な支援と、スタートアップ企業向け投資ファンドへの出資を通じた支援により得られたネットワークや知見を活用し、信用金庫を基点とした“つながり”と、協創を基軸としたスタートアップ企業の支援に取り組んでいます。第2回(2024年5月17日)には6社、第3回(2024年11月8日)にも8社によるピッチを実施し、新たなイノベーションの種を創出するきっかけや、資金調達等の後押しにつなげました。



ベンチャー・ビジネス (VB) 投資

新規事業に挑戦しているお客さまに対し、西武しんきんキャピタル株式会社を通じてエクイティ資金の供給を行っております。子会社設立以降のべ149社のVB投資を実行し、うち17社が上場を果たしています。

2003  
~2024  
149 社

2. 創業期の資金需要とノウハウや知識をバックアップ！



創業融資

2024年度は、417件の創業融資を実行し、創業期の多様な資金需要にお応えしました。

2024  
417 件

創業セミナー・創業塾・個別創業相談会の開催

地域の自治体や諸団体の協力のもと、新たなビジネスを成功させるためのマーケティングや組織管理、財務等の経営面のノウハウをわかりやすくお伝えする「創業セミナー」や「個別創業相談会」を開催。創業のノウハウ習得にお役立ていただきました。



事例

地域のお困りごとを解決する「便利屋」の創業を応援したケース

Aさまは、生まれ育った地域のボランティア活動に積極的に参加している地元愛あふれる方。困っている人の役に立ちたいと「便利屋」の創設を決意され、造園やハウスクリーニングといった多様な地域ニーズにお応えすべく複数の資格を取得。併せて当金庫「創業相談会」に参加して事業計画書を策定する等、創業時の経営ノウハウを習得。当金庫は自治体の創業補助金の申請支援等、資金調達面のご支援を通じてAさまの創業を応援しました。

事例

事業譲渡が後押しとなり創業を応援したケース

Bさまは、大学卒業後、調剤薬局・ドラッグストアに約13年間従事。ご自身の創業を視野に、調剤業務や卸売業者との価格交渉や病院・訪問介護事業者への営業活動等の経験や実績を積み重ねていたところ、「事業譲渡を検討している調剤薬局がある」との情報を事業承継の中間支援団体より入手。ノウハウ習得のために当金庫「創業セミナー」へ参加。このほか資金調達等を通じてBさまの創業を応援しました。

3. コンテストで創業期を応援！



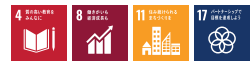
ビジコンなかの2024

2020年より西武信用金庫主催・中野区共催で開催している、ビジネスプランコンテスト「ビジコンなかの」を2024年度も開催しました。本コンテストは、中野区を含む地域や住民を対象として展開する新たなビジネスプランを募集し、優れたプランを表彰するものです。

2024年度は、2回の審査とプランのブラッシュアップを経て、7名のファイナリストが選出され、2025年2月7日の最終選考会にて入賞プランが決定しました。



## 4. 若い発想力で、地域の未来へのビジネス展開をサポート！



### 地域連携スチューデントアワード・SDGs QUESTみらい甲子園

当金庫では、2014年より大手企業の開放特許を用いた新事業を学生より募る「知財活用スチューデントアワード」を開催し、発想力豊かな学生と技術を有する地域の中小企業をつなぐことで、持続可能な社会創出を目指してまいりました。2024年度は、中小企業の技術・サービスを提供していただく「地域連携スチューデントアワード」に変更。6大学14チームが2024年12月11日の最終発表会まで進み、中小企業の製品・サービス(5社)を活用した新ビジネスのプレゼンテーションを行いました。



2024年度地域連携スチューデントアワード最終発表会

また、SDGsの目標達成に向けた高校生たちのSDGsアクションアイデアコンテスト「2024年度SDGs QUESTみらい甲子園 東京都大会」に、昨年度に続き協賛企業として参加しました。ファイナルセレモニーでは、駒込高等学校(近年多発する震災時におけるストレス軽減と電力不足を解消するアイデア)が優秀賞と協賛企業賞をダブル受賞しました。今後も“持続可能な社会の担い手”を育てる活動を応援してまいります。



SDGs QUESTみらい甲子園東京都大会ファイナルセレモニー



成長・安定期、円熟期における各社の経営課題は、業種や市場等で異なり、その解決手段も多岐にわたります。当金庫は、それら多種多様な経営課題に対し、専門家派遣や事業診断、資本強化策等、適切な支援メニューを適宜ご提案することで、中小企業のライフステージに合わせた支援を行っています。

## 1. ビジネスイベントを通じて、事業をバックアップ！



### 2大ビジネスイベントの開催

2024年度も、当金庫恒例の2大ビジネスイベントを開催しました。

各イベント会場には、こだわりの食材で「美味しい」を追求する飲食・食品製造業等や、技術力が詰まった製品で勝負するものづくり企業にご出展いただきました。また、他信用金庫のお客さまからもご出展いただき、地域の垣根を越えたマッチングの場として、サステナブルな取組みの紹介やDX、GX促進に向けたサービスの紹介等を通じて、多種多様な事業者のステップアップを後押ししました。

### 第18回東京発！ 物産・逸品見本市

出展社・団体数:99  
バイヤー・サプライヤー参加社数:28  
商談件数:123



### 第24回ビジネスフェア

出展社・団体数:249  
来場者数:3,688  
マッチング件数:2,578



## 2. お客さま同士のつながりをより強固に！



### 西武100年企業の会

老舗企業のサステナブル等への取組みやノウハウを、当金庫内外に発信し、地域経済およびお客さまの事業の継続性を高める取組みとして、2023年に発足した「西武100年企業の会」。本会は、当金庫のお客さまのなかから創業100年を超える企業を組織化し、相互の親睦・交流と有益な情報の共有化を行うプラットフォームとなっています。2024年6月12日には顕彰式、12月3日には納会を開催し、永年経営されてきたなかでの幾多の試練や乗り越え方、またさらなる事業継続に向けてのヒント等をいただきました。今後もさらに積極的な情報発信の場として、お客さま同士の交流の活性化につなげてまいります。



### 事例

#### 「西武100年企業の会」をきっかけとしたビジネスマッチング

2024年10月、老舗企業が集う「老舗フェスティバル2024」が開催され、「西武100年企業の会」会員を代表し、燻製チーズ等を提供するM社が出店。イベント開催に先駆けて、開催地域(中央区)をより活性化させるため、中央区の飲食店2社と限定のコラボメニューを創作しました。このうち1社とのコラボメニュー(メンチカツ)が採用され、新たな販路拡大の一助につながりました。

女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」

2022年度に発足した女性後継者の会「SEIBU LADY LINK」では、会員の皆さまからアンケートをとり、各回それぞれ違うテーマをもとにイベントを開催することで、会員の皆さまの“真の課題解決”に取り組んでいます。2024年度は3回のワークショップを開催するとともに、特別企画として3日間にわたる「経営力強化セミナー」と、「多様性セミナー」、また「ゴルフコンペ」を開催しました。今後も女性後継者さまに寄り添い、お客さま同士の対話や交流を促進し、女性後継者さまのコミュニティ形成や事業承継、経営・メンタル面の伴走支援を強化してまいります。



第5回ワークショップ  
(2024年7月26日)



特別企画 多様性セミナー  
(2024年9月12日)

3. セミナーや相談会で経営課題解決をサポート！



各種セミナー・相談会の開催

当金庫では、時流に合わせた事業者向けのセミナーや相談会を定期的に行い、お客さまの事業に役立つ情報をタイムリーにお届けできるよう努めています。



4. 融資商品や私募債の活用で事業をバックアップ！



当金庫は、時流に合わせた融資商品の提供とSDGs私募債の取扱いを通じて、お客さまの様々なニーズに合わせた資金需要にお応えできるよう尽力しています。

● 融資商品・私募債 (金額単位:百万円)

SDGs私募債引受	6件 (1,000)
金融機関提案融資「西武健康経営支援」	2件 (80)
西武サステナビリティ・リンク・ローン	2件 (80)

東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資

東京都が取り扱う中小企業制度融資の融資メニューのひとつである、東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資に2022年10月(2商品)、2023年10月(1商品)採択され、地域事業の資金調達にお役立ていただいています。

1.西武脱炭素支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のCO<sub>2</sub>排出量の算定(可視化)を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

2.西武BCP支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のBCP等を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

3.西武健康経営支援

西武信用金庫連携先のご支援により、「健康優良企業」および「健康経営優良法人」の認定取得、または、既に認定取得済でさらに健康経営の偏差値を上げたい都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

西武SDGs私募債

当金庫は2022年10月より、SDGs推進に取り組む企業のご支援およびSDGsの普及拡大と寄付を通じた地域貢献の一環として、「西武SDGs私募債」の取扱いを開始。

2024年度も地域でSDGsに取り組む6社のお客さまから「西武SDGs私募債」をお引受けし、お客さまへ記念楯の贈呈式を順次開催しました。



事例

「西武SDGs私募債」に伴い、社会的解決に取り組む団体へ寄付を実施いただいたケース

D社は、通信制高校サポート校や高卒認定試験予備校を運営する企業。寄付を通じて地域の持続可能性を高めることを目的としている「西武SDGs私募債」に共感していただき、私募債を発行しました。D社はSDGsのゴール「質の高い教育をみんなに」の達成のため、平等で公正な世界の実現を目指す国際NGOのP社へ、私募債発行額の0.2%相当の寄付(P社が運営する社会的に孤立している方向けのスペースに常設する業務用冷蔵庫の贈呈)を実施し、社会的課題解決に貢献していただきました。

## 西武サステナビリティ・リンク・ローン

事前に定められる重要な評価指標 (KPI) の実質的な改善につながる野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット (SPTs) を設定し、その達成状況と金利等の融資条件が連動する融資です。2024年度は2社さまに融資を実行しました。今後もDX (デジタルトランスフォーメーション) やGX (脱炭素) に取り組み、サステナブル経営に挑むお客さまを積極的に支援してまいります。

## 5. オープンイノベーションピッチでビジネスマッチングをお手伝い！



### 第3回西武オープンイノベーションピッチ・渋谷オープンイノベーションピッチ

当金庫は、企業関連等のマッチングを目的として2022年11月「第22回ビジネスフェア」内のイベントとして開催した「西武オープンイノベーションピッチ」を、2023年度から独立開催しています。2025年3月7日の第3回には、6社の企業さまが登壇してプレゼンテーションを行い、201名の方にご参加いただきました。各社のニーズを受けた新事業は、イベント参加者との連携で事業化を図っています。



また、環境経営支援の新たな取組みとして、渋谷区を舞台に「渋谷オープンイノベーションピッチ」を開催 (2024年9月17日)。「Innovation×Sustainability」をテーマに、近年社会問題化している空き家の有効活用や、廃材の有効活用といったビジネスを展開する企業5社さまにご登壇いただき、環境保護を含むサステナビリティに関する機運を高めつつ、イベント参加者との連携を図りました。

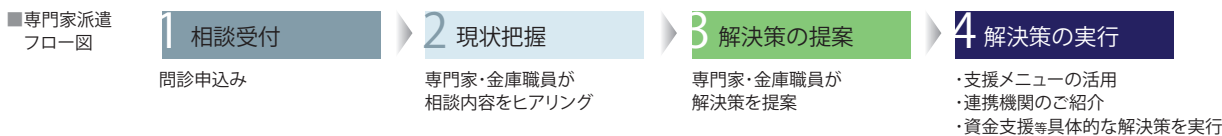
## 6. トップラインサポートオフィスをバックアップ



当金庫は、2021年1月より、「トップラインサポートオフィス」を開設しました。ビジネスを取り巻く環境の変化をとらえ、お客さまの売上や販路開拓等のトップライン引き上げのサポートに努めています。2024年度も、DX・GXの促進支援、事業承継支援等、お客さまの様々な事業課題の解決に提携先と連携を図りながら取り組みました。

### 専門家派遣事業

お客さまの多岐にわたる課題を専門家のノウハウで迅速に解決する「専門家派遣」態勢を構築し、課題解決に努めています。



### 事例

#### 販売戦略を策定し販路拡大支援をした事例

調味料等の小売業を営むM社より、卸売での販売を検討したいとの情報を受け、地域ブランディングに強い専門家をご紹介。商品戦略や価格戦略、ターゲティング等を立案し、FCPシート (展示会や商談会時に必要な情報を掲載) の作成に向けたアドバイスを行いました。専門家紹介のもと、バイヤーからの要望も確認し、商品企画を固めました。専門家のアドバイスにより幅広く商談することができるようになりました。

### 西武DX推進タスクフォース

デジタル技術やデータを駆使し、事業の効率化、高度化を実現するDXの推進に向け、「西武DX推進タスクフォース」(DXTF) を起ち上げました。2024年4月25日の第1回では、4社のDX推進について専門家と協議し、具現化することができました。今後もより多くのお客さまのDX推進に取り組んでまいります。



### 事例

#### 経営管理システム導入によりDX支援をした事例

T社では、建設現場での管理体制や勤怠システム等を整備したいニーズがあり、建設業向けの一元管理システムを取り扱うビジネスマッチング先をご紹介。実際に導入し、現場ごとの進捗状況の可視化や従業員の作業負担軽減を図りました。

環境経営支援

環境省主催「令和6年度脱炭素社会の実現に向けた地域金融機関の環境経営支援人材養成モデル事業」へ参加

本事業は、脱炭素社会実現に向けて、地域金融機関職員を育成し、地域の中小企業へ環境経営を推進(エコアクション21取得支援)する取組みです。職員が参加し、環境を取りまく動向や環境関連法規基礎、環境マネジメントシステム等に関する知識を習得するとともに、「エコアクション21環境経営ファシリテーター」の試験を受け、資格を取得しました。

「脱炭素経営促進マッチング会」の開催

2024年6月、入間市内の事業者を対象に「脱炭素経営促進マッチング会」を開催しました(共催:入間市)。入間市と当金庫が昨年度締結した「地域活性化支援に関する協定書」に基づく取組みとして市内事業者の脱炭素経営、GXの後押しを目的に開催。外部講師による背景の必要性、導入事例等の説明のほか、既に脱炭素経営に取り組んでいる市内事業者2社を交えたパネルディスカッション等を実施し、20名が参加しました。脱炭素経営への意識醸成と行動変容を促しました。

健康経営支援

事例

従業員の健康保持に取り組んでいる企業さまに「西武健康経営支援」の融資をご利用いただいたケース

F社は、老人ホーム紹介サービスを行う企業。従業員の健康保持を経営課題と捉えており、当金庫独自の融資制度「西武健康経営支援」に関心をお持ちいただきました。当金庫の事業支援活動「専門家派遣」により、F社へ健康経営に関する連携先を紹介し、お客さまと当金庫と連携先が“三位一体”となり、F社の健康経営実現に向けた支援を行った結果、当金庫の取組みに共感いただき、他行の融資を当金庫にお借換えいただきました。

事例

専門家紹介による「健康経営優良法人」認定取得

I社に対し従業員定着の一環として「健康経営優良法人」認定の取得をご案内し、専門家をご紹介。昨年度より申請に向けた社内整備を進めていました。2024年9月に東京都「健康優良企業(銀の認定)」を取得後、経済産業省「健康経営優良法人2025」に申請し、2025年3月に認定取得することができました。

事業承継支援

事例

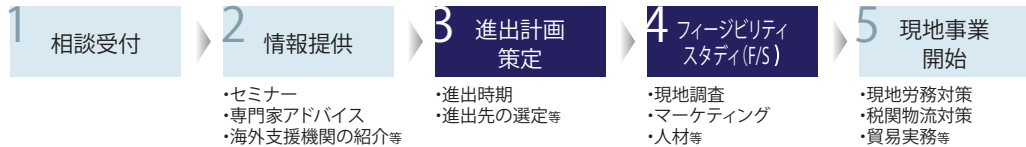
M&Aを通じて円滑な事業承継につながったケース

自身の高齢・後継者不在を理由に地元クリニックを永年営むOさまより、当金庫営業担当者へM&Aのご相談がありました。複数回の面談により、譲受先への要望や条件等についてヒアリングを行い、最適なM&A仲介会社をご紹介しました。その後、勤務医であったFさまが譲受先とし手を挙げ成約となりました。成約後もクリニックのスタッフは変わらず、これまでどおり地域医療が継続できることになりました。

海外展開支援

海外に活路を求める企業ニーズの高まりから、当金庫は海外進出に特化した相談窓口「海外展開サポートデスク」を2011年に設置。いつでもご相談いただける体制を整えています。また、海外での資金調達や販路開拓等、海外展開に必要なノウハウやネットワークを持つ専門機関と連携を図り、海外進出を身近なものとして取り組んでいただけるよう努めています。

■「海外展開サポートデスク」支援フロー図



事例

商社とのマッチングによる海外への販路拡大支援

T社(日用雑貨の製造販売)は、以前から海外の取引実績がありましたが、さらなる海外販路の拡大を目指していました。当金庫では、専門家を派遣しマーケット情報を提供するとともに、ラオスの商社との引き合わせを実施しました。商談を重ねた結果、継続的な取引関係が構築され、コア商品の定期的な発注が行われるまでに至りました。今後もさらなる周辺国への展開を視野に入れ、販路拡大の支援を実施します。

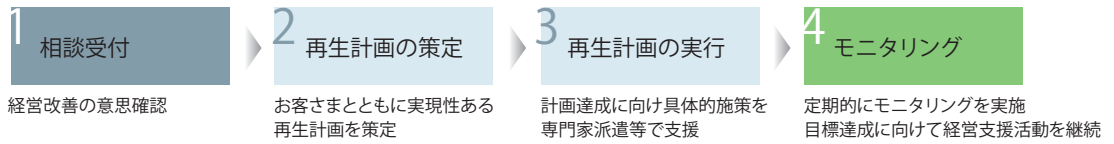
## 7. 事業再生支援でバックアップ!



当金庫は再生支援の担当部署を設け、きめ細かなご支援を行い、お客さまとともに事業再生に取り組んでいます。2024年度は100件の事業再生計画を策定しました。

2024  
100件

■再生支援  
フロー図



また、2022年10月より、リレーションシップバンキングセンターを設置し、当金庫メイン先・非メイン先を問わず、信用金庫として地域経済に影響がある先等に深く関わり、金融支援だけに留まらず、ヒト・情報・ネットワークを駆使し、事業そのものを支援することで、お客さまの企業価値向上を目指しています。

### 事例

#### リレーションシップバンキングセンター長による支援活動の強化

K社はコロナ禍で業績が落ち込み、中小企業活性化協議会の支援を受け、再生法における要管理債権でしたが、業績が回復し出口戦略を探っていました。営業店とリレーションシップバンキングセンター長が連携して、経営改善計画のモニタリング時に経営者の将来への想いを受け止め、今後の事業の成長・発展に向けて借入金構成の見直しを提案しました。その後、メインバンクや政府系金融機関と連携して、キャッシュフローの範囲内で返済条件を設定して、協調融資を実行しました。K社は活性化協議会を卒業し、主体的に事業発展に取り組めるようになり、正常債権となりました。

### ● 経営改善支援の取組み実績(2024年度)

	期初 債務者数	うち経営 改善支援 取組先数	Bのうち期末に 債務者区分が ランクアップ した先数	Bのうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先数	Bのうち 事業再生計画を 策定した先数	経営改善 支援 取組率	ランク アップ率	事業再生計画 策定率
	A	B	C	D	E	B/A	C/B	E/B
正常先	15,325	81		76	81	0.53%		100.00%
要注 意先	うちその他要注意先	6,156	297	6	256	4.82%	2.02%	100.00%
	うち要管理先	16	3	3	3	18.75%	100.00%	100.00%
破綻懸念先	617	67	5	52	67	10.86%	7.46%	100.00%
実質破綻先	123	—	—	0	—	—	—	—
破綻先	30	—	—	0	—	—	—	—
合計	22,267	448	14	387	448	2.01%	3.13%	100.00%

\*「経営改善支援取組率」および「ランクアップ率」は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ● 経営者保証に関するガイドラインへの取組み状況

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分にふまえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容をふまえて十分に検討する等、適切な対応に努めています。

	2024年度
新規に無保証で融資した件数	4,215
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	58.72%
保証契約を解除した件数	333
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	7

\*「新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合」は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

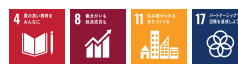
## 資産形成支援

“ 当金庫は、お客さまのライフプランを、はじめる世代、そだてる世代、準備する世代、引き継ぐ世代と分類し、地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、多様化するニーズに対応し、きめ細かなご提案をすることを目指し活動しています。 ”

●定期預金等(金額単位:百万円)

金利優遇定期預金契約	9,165件 (71,089)
------------	-----------------

### 1. 地域の相談拠点の強化で、お客さまの暮らしをバックアップ！



#### 暮らしの相談センター

「暮らしの相談センター」を、入間支店内、杉並営業部内に続き、2024年10月に牛浜支店内、2024年11月に東大和支店内に開設し、日々のお客さまからの様々なご相談にお応えしています。

「暮らしの相談センター」では、お客さまのお金に関するお悩みはもちろんのこと、暮らしにまつわる相談をお受けいたします。地域の皆さまとのつながりを広げ、深めていき、豊かで安心した暮らしの実現のためのお手伝いを積極的に展開しています。

名 称 牛浜支店内「暮らしの相談センター」

所 在 地 福生市牛浜95

電話番号 042-552-6611

名 称 東大和支店内「暮らしの相談センター」

所 在 地 東大和市狭山4-1394-1

電話番号 042-562-4111



### 2. 各種相談会・セミナーの開催で暮らしをサポート！



#### 年金相談会

当金庫では、社会保険労務士による「年金相談会」を各営業店にて定期的で開催しています。また、2022年2月より、WEB面談による随時受付対応の年金相談サービス「オンライン「ちょっと年金相談」」を実施しています。地域のお客さまの年金に関する疑問やお悩みをお気軽にご相談いただき、専門職員のアドバイスを老後の資産計画の参考にしていただいています。また、2021年10月より、年金に関する調査を郵送にて行う「年金郵送調査」のお申込みをWEBで受付する「年金郵送調査WEB受付」を取り扱っています。



●年金相談会開催回数(2024年度)：358回

●年金相談会相談件数(2024年度)：1,648件



# 資産形成支援

## 資産承継相談会・資産運用相談会

地域のお客さまの老後や相続等に関するお悩みをもっと気軽に相談いただける環境づくりとして、資産承継相談会を定期的に開催しています。また、地域のお客さまへの資産形成・運用に関する情報発信として、資産運用相談会を各営業店と本部が連携して開催しています。

- 資産承継相談会・資産運用相談会開催回数(2024年度)：48回
- 資産承継相談・資産運用相談件数(2024年度)：304件



## 事例

### お客さまの希望する財産承継実現のための遺言作成事例

Cさまは配偶者とは死別なさって、お子さまもいらっしゃらない方でした。頼りにしていたお兄さまの相続が発生したことを契機に、ご自身の相続について相談されました。推定相続人はご兄弟および甥、姪で、自分のことを気にかけてくれる姪へ財産を渡したいが、相続発生時に負担をかけたくないというご意向があったことから、遺言信託を提案させていただき、信託会社を紹介し、無事公正証書遺言作成に至りました。相続発生時には信託会社が遺言を執行することから、姪に負担なく財産を承継できることとなり、Cさまにとっても安心していただきました。

## 暮らしに関わる各種セミナー

「暮らしの相談センター」を中心に、各営業店内で、お客さまの生活に密着したセミナーを開催する等、資金面だけでなく暮らしに関わる様々なお悩みや相談等にお応えさせていただき取組みを実施しています。

また、暮らしに役立つリアルな情報をお届けし、あらゆる世代の暮らしによりお役に立てるようにサポートする「西武暮らしの情報局2024～あなたの暮らしに役立つフェア～」を初開催(2024年12月14日)。相続・資産承継やライフプラン、資産運用について説明しました。



- 暮らしの相談センター相談会相談件数(2024年度)：94件
- 暮らしの相談センター相談会開催数(2024年度)：22回
- コンタクトセンター架電ご案内件数：84,407件
- 西武暮らしの情報局2024～あなたの暮らしに役立つフェア～参加者数：71名



## 3. イベントの開催で、お客さまの暮らしをより楽しく！

### 各種イベント開催！

年金をお受取りいただいているお客さまを対象にした西武年金友の会3大イベント、初夏の「日帰り旅行」、秋の「お笑い寄席」、冬の「観劇会」を開催し、お客さまにお楽しみいただきました。



- 会員数：80,007名(2025年3月31日現在)
- 「日帰り旅行」参加者数(2024年度)：852名
- 「お笑い寄席」参加者数(2024年度)：6,506名
- 「観劇会」参加者数(2024年度)：1,218名



### 2024年度国内宿泊「岩手」旅行

お客さま同士、およびお客さまと営業店の親睦を深めるため、2024年10月3日～11月20日、10班編成で国内宿泊旅行を実施し、のべ407名のお客さまにご参加いただきました。2024年度は永年当金庫と深い交流が続いている岩手県盛岡市を地盤とする盛岡信用金庫さまを中心とし、花巻信用金庫さま、一関信用金庫さまにもご協力いただき、信用金庫同士のつながり、おもてなしの心や、“やさしさ”を実感できるプレミアムな旅行となりました。2025年度は、6年振りとなる海外宿泊旅行スペイン(バルセロナ・マドリッド)5泊8日間、国内宿泊旅行岡山県・兵庫県(倉敷・淡路島・姫路)2泊3日間を実施予定です。今回の国内宿泊旅行も当金庫と深い交流が続いている岡山県倉敷市を地盤とする玉島信用金庫さまを中心とし、淡路信用金庫さま、播州信用金庫さまに協力していただき、当金庫の旅行でしか体験できないプランを企画しています。



## 4. 従業員さま向けの出張セミナーで、資産形成をお手伝い！



### 事業所・団体向け出張セミナーの開催

当金庫では、事業を営むお客さまやその従業員さま向けに、専任の担当者による資産運用・資産形成等のセミナーまたは相談会を開催しています。経営者や従業員さま個人の生活の充実に、また事業所の福利厚生の一環としてもお役立ていただいています。



- 事業所・団体向け出張セミナー開催回数(2024年度)：31回
- 事業所・団体向け出張セミナー参加者数(2024年度)：449名

## 5. シニア世代向け預金商品で資産運用をバックアップ！



### シニア世代へのおトクな預金商品

当金庫では、お客さまの貯蓄ニーズにお応えするため様々な預金商品を取り揃え、シニア世代の資産運用にご活用いただいています。

### ●各種預金商品契約実績(2024年度)

「年金定期預金よろこび」	6,578件	144億円
「年金定期預金ハッピー」	3,132件	101億円
「ほほえみ60」	1,184件	28億円
制度普及促進定期預金	1,894件	50億円



## 街づくり支援

“ 当金庫は、地域の課題をビジネスで解決するコミュニティビジネスのご支援や、地域活性化のための取組みを通じて、地域の新たな創業や雇用の創出、働きがい・生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与したいと考え活動しています。 ”

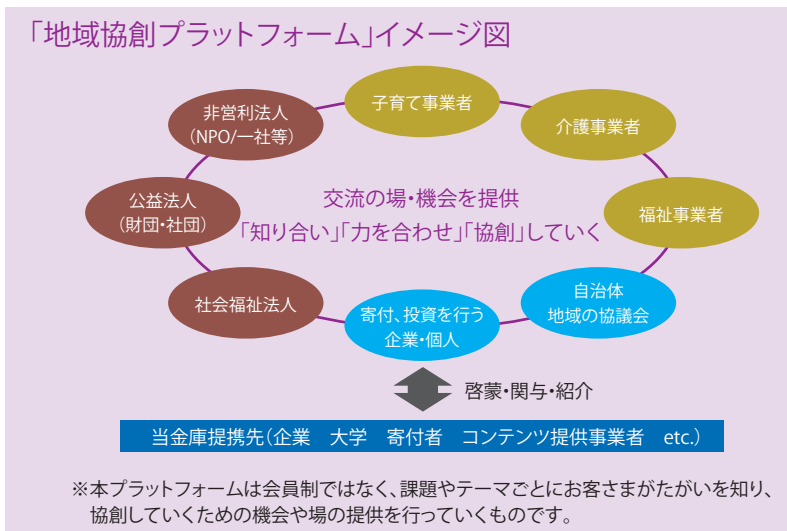
●街づくり等に関連する取組み(金額単位:百万円)

特定創業支援等事業 認定自治体	21市区町
特定非営利活動法人向け融資	21件 (315)
社会福祉法人向け融資	28件 (1,425)



## 1. プラットフォームにより地域のなかでの協創事業のサポートを強化!

### 地域協創プラットフォーム発足



地域に欠かすことのできない福祉や子育て、障がい者支援等の課題を解決し、より良い地域づくりを目指す「地域協創プラットフォーム」を2024年1月に起ち上げました。本プラットフォームでは、参加者同士が「集い」「知り合い」「力を合わせ」「協創」することにより、相互の事業の成長や地域の豊かさにつなげ“お客さま同士の相互扶助”を実現したいと考えています。2024年度は具体的な取組みとして「協創サロン」および「課題解決セミナー」を開催し、参加者同士の積極的な意見交換や連携の場に活用いただきました。

## 2. 融資商品&オフィスの提供でコミュニティビジネスを応援!

### 西武コミュニティローン&地域・社会課題解決ビジネス応援融資(愛称:S-wish スウィッシュ)

地域に資するコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスを営むお客さま専用ローン商品を通じて、皆さまの活動を応援しています。2023年5月より取扱いを開始した地域・社会課題解決ビジネス応援融資(愛称:S-wish スウィッシュ)は、子育て・教育・福祉等の課題解決に取り組む事業者の皆さまに活用いただいています。

### コミュニティオフィスの提供

地域における社会貢献事業やコミュニティビジネスを営むお客さま専用のオフィススペース「西武コミュニティオフィス」(2005年開設)を当金庫荻窪支店に併設しています。NPO支援やコミュニティづくり等、地域が抱える課題を解決する皆さまの拠点として活用していただいています。

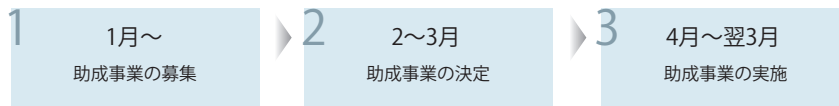


### 3. 助成金×若者のアイデアで地域の活性化をお手伝い！



#### 地域みらいプロジェクト

「地域みらいプロジェクト」は、地域の活性化を目的に1989年から続く当金庫の地域貢献活動です。2024年度は、50団体の地域活性化等を目的にした61事業に3,170万円の活動資金を贈呈するとともに、各事業に当金庫若手職員等が参加させていただきました。



\*上記は一般的な助成の流れです。

#### 事例

##### 福生市商工会(東京都福生市)「福生蔵開き」

市の産業祭にかわる産業PR事業である「福生蔵開き」に、本制度を活用いただきました。福生蔵開きには、地域資源である田村酒造場さまと石川酒造さまを中心に、市内複数の飲食業者さまが参加。新商品のお披露目等を行って市内外に広く福生市の魅力をPRするイベントです。当金庫は実行委員会メンバーとしてイベント開催運営をお手伝いさせていただきました。



#### 事例

##### 東京デザイン専門学校(東京都渋谷区)「地域貢献型産学連携プロジェクト」

社会における即戦力を身につける「実学教育」を実践する東京デザイン専門学校さまの「地域貢献型産学連携プロジェクト」に、2024年度から本制度を活用いただきました。初年度の連携先は、原宿神宮前商店会さまです。当金庫原宿支店の職員も参加させていただき、学生の皆さまとともに「ピカハラ～ウラハラをピカピカにしたい件について～」というキャッチーなタイトルで、デザインによる裏原宿のマナー向上事業に取り組みました。



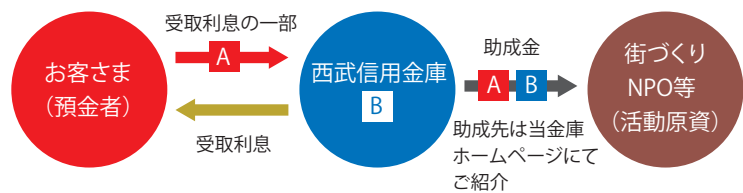
### 4. 助成機能付き定期預金で街の活性化をバックアップ！



#### 地域みらい定期預金

「地域みらい定期預金」は、お客さまのご預金が地域のみらいにつながる寄付型預金です。

お客さまからお預かりした助成金Aと当金庫からの拠出金Bを街づくりNPOに寄贈。お客さまのご預金が街づくりに生きる寄付型預金で、2024年度は、2024年10月1日～12月30日の3ヵ月間販売しました。



●地域みらい定期預金実績：1,686件 97億480万円(2024年度)

#### 地域みらい助成金

「地域みらい助成金」は、2008年に取扱いを開始した当金庫の助成制度です。2024年度の助成原資は、昨年度販売した「地域みらい定期預金」の満期お利息の一部と、当金庫の拠出金からなります。2025年3月5日に助成金最終選考会および贈呈式を開催し、7団体への助成が決定。各助成団体の皆さまの地域貢献活動に活用いただいています。



●地域みらい助成金贈呈実績：7団体 140万円(2024年度)

## 5. 行政・自治体との連携強化と地域のイベント参加で地域活性化をバックアップ!



### 行政・自治体との連携強化

各自治体と相互に連携・協力し、暮らしやすい街づくり、定住、事業者支援等を目的として各種協定を締結しました。今後も、より一層の相互連携を図りながら、双方の資源を有効に活用できるよう取り組んでまいります。

●自治体との各種連携・協定締結数：4件



### 地域イベントへの参加

当金庫の役職員が年間を通じて地域のイベントや祭事に積極的に参加し、街を盛り立てる活動に取り組みました。今後も、地域活性化の一助となるよう、各種イベントに参画させていただきます。



中野氷川神社例大祭



クルメッサニア2024



西東京市地域安全運動

## 6. サステナブルな社会の実現に寄与する地域事業をバックアップ!



当金庫は、SDGsに寄与する取組みを積極的に応援しています。

### 「なかのSDGsパートナー」の登録

当金庫は、2024年1月に「なかのSDGsパートナー」制度に登録。本制度は、中野区が基本構想で描く街づくりの実現に向けた取組みを拡大し、SDGsの普及啓発を図ることを目的に中野区と連携してSDGsの推進や地域の課題解決に取り組む企業を募集する制度です。中野区と連携・協力を図り、地域とともにSDGs推進や地域の課題解決に取り組んでまいります。



### フードバンク

「NPO法人フードバンク八王子えがお」さまの活動に賛同し、2021年10月より八王子市内の店舗窓口に食品寄贈BOX『えがおボックス』を設置。食品を捨てずに寄付することで「食のロス」および支援を必要とする方に食料を届ける「食のセーフティネット」となる取組みを行っています。

\*「えがおボックス」設置店：北野支店、榎原支店



### 衣服回収

「一般社団法人リ・ファッション協会」さまの活動に賛同し、2022年3月より当金庫役職員の衣類の再利用（回収）の取組みを行っております。なお回収した衣類は、衣類の種類や状況に応じて、衣類としての再利用やチャリティ品としての活用のほか、再生・資源に再利用されます。



### こどものみらい古本募金

子ども家庭庁「こどもの未来応援国民運動」に賛同し、2020年11月より「こどもみらい古本募金」に参加しています。本取組みは、読み終わった本を活用した寄付プログラムで、資源の有効活用と貧困の状況にある子どもたちへの支援を行うものです。2024年1月からは、専用回収ボックスを全店舗（東京プライベートネット支店を除く）に設置。今後も、資源の循環と、すべての子どもたちが夢や希望を持てる社会の創出に寄与したいと考えています。



### こどもの未来応援基金『クリック募金』

2022年6月より、金融機関として初めて「こどもの未来応援基金『クリック募金』」に参加し、貧困の状況にある家庭や子どもたちへ必要な支援を届けるためのお手伝いをしています。本活動は、子ども家庭庁「こどもの未来応援国民運動」の取組みの一環で、特設サイトのバナーをクリックしていただくと、クリックされた方に代わり当金庫が1クリックにつき2円を「こどもの未来応援基金」に寄付する仕組みとなっています。



●SDGs思考の取組み活性化のための資格取得状況（2025年3月31日現在）

SDGs・ESGベーシック検定資格保有者数	325名
ユニバーサルマナー検定3級資格保有者数	338名

●高齢者等のお客さまが安心して生活できる街づくりのための協力状況（2025年3月31日現在）

高齢者等の見守りに関する協定締結自治体数	31自治体
----------------------	-------

## ■2024年度の実績

### 事業支援活動

項目	実績
1. 専門家派遣	707先／1,328回
2. 公的支援施策取得活用支援	257件
3. 受発注相談による紹介、ビジネスマッチングの支援 (うち受発注成約)	6,561件 (1,452件)
4. 産学連携支援	109件
5. 西武事業承継支援センターの活用	414件
6. 海外展開支援	161社
7. M&A情報 (うち成約)	230件 (22件)
8. 創業融資による支援	417件

### 事業再生活動

項目	実績
1. 事業再生計画策定 (事業再生計画策定先総数)	100件 (425件)
2. 債務者区分ランクアップ	14件